

令和3年度 診療所利用状況集計結果

資料2

1 利用者数

年度	総患者数	土曜日平均	祝・日曜日平均	救急搬入数
令和3年度	2,091人	7人	24人	15人
令和2年度	1,770人	6人	21人	16人
令和元年度	4,012人	10人	44人	41人

2 診療情報提供書(紹介状)記入件数

年度	総患者数	紹介状総数	二次救急施設への紹介状数	市内病院への紹介状数
令和3年度	2,091人	200人	128人	46人
令和2年度	1,770人	167人	103人	41人
令和元年度	4,012人	238人	153人	61人

総患者数は減少しているが、紹介件数は上昇傾向にあり、重症患者の割合が増加している。軽症患者が受診を控えるようになったと考えられる。

3 月別診療所利用状況

月	利用状況
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は124人で、前年度と比較して約2割増であった。 ・内科は、上気道炎や胃腸炎の患者が多くみられた。 ・外科は、屋外作業中での外傷が増え、捻挫や骨折、切創の患者もみられた。 ・小児科は、発熱を伴う上気道炎や胃腸炎の患児が多くみられた。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は218人で、前年度と比較して約1割増であった。 ・内科は、上咽頭炎、気管支炎、消化器症状を訴える患者が多かった。 ・外科は、屋外での受傷者が多くみられた。 ・小児科は、前年比の6割増で、発熱や感染性胃腸炎が多くみられた。 ・外科を中心に紹介患者数は、13件あり、ガーゼ交換のために翌日も継続診療が必要な患者もみられた。 ・奥越で新型コロナウイルス感染症患者のクラスターが発生したため、検査を希望する問い合わせや、不安を訴える患者が目立った。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は171人で、前年度と比較して約5割増であった。 ・内科は、胃腸炎、膀胱炎や便秘症などが多かった。 ・外科は、屋外での活動により、虫刺症やマダニ刺症がみられた。また、捻挫や骨折、切創も多かった。 ・小児科は、RSウイルス感染症の流行による影響でRSウイルス細気管支炎の乳児がいた。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は276人で、前年度と比較して約3割増であった。 ・内科は、受診・相談センター相談後に戻ってきて、解熱剤処方となったが、翌日、受診・相談センターから当該患者の陽性の連絡が入った。 新型コロナウイルスワクチン接種が始まり、副反応による発熱での受診があった。 ・外科は、虫刺症が多くみられた。また、10円玉を飲み込んだ3才児の救急搬入・2次救急転送があった。

月	利 用 状 況
	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科は、RSウイルスの流行による気管支炎、急性上気道炎が多かった。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は211人で、前年度と比較して約1割減であった。 ・内科は、急性胃腸炎で点滴を必要とする患者が目立った。 ・新型コロナウイルスワクチン接種後の副作用による受診が増加した。 ・外科は、草刈り機による挫創や、屋外での捻挫、骨折が多かった。 ・小児科は、上気道炎、気管支炎が目立ったが、RSウイルス由来は少なくなった。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は170人で、前年度と比較して約1割減であった。 ・内科は、上気道炎、咽頭炎が多かった。また、新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応での発熱が3人あった。 ・外科は、幼児の転落による頭部打撲や蜂刺症、切創が目立ち、体育祭での捻挫や骨折もあった。 ・小児科は、受診者数が少なく、比較的落ち着いていた。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は138人で、前年度と比較して約3割増であった。 ・内科は、腹部症状や胸痛による2次救急転送があった。 ・外科は、屋外作業中やスポーツでの外傷が多かった。 ・小児科は、比較的落ち着いていたが、10月下旬に、喘息症状の患者が目立ち始めた。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は159人で、前年度とほぼ変わらない人数であった。 ・内科は、カニのアナフィラキシー症状で2次救急転送があった。 ・外科は、創傷処置が多くみられた。屋外で転倒し切創した高齢者もあった。 ・小児科は、急性上気道炎・胃腸炎が目立った。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は176人で、前年度と比較して約3割増であった。 ・内科は、感染性胃腸炎での受診が多かった。 新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応と考えられる発熱者もみられた。 ・外科は、降雪による転倒骨折が目立った。 ・小児科は、上気道炎、咽頭炎、胃腸炎が主で、県外から帰省中の受診もあった。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は229人で、前年度と比較して約5割増であった。 ・内科・小児科共に、上気道炎や気管支炎・胃腸炎が目立った。 ・外科は、切創や擦過傷の外傷や降雪・凍結による転倒での骨折、スノーボードでの骨折がみられた。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は114人で、前年度と比較して約2割減であった。 ・内科は、新型コロナウイルス感染症が周りにいるため、検査希望の問い合わせ電話が多かった。 新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応での受診があった。 ・外科は、スノーボードや屋外での外傷が多かった。 ・小児科は、新型コロナウイルス感染症の陽性患児が療養中に湿疹が出現したため、診療所駐車場で農耕接触者の家族のスマートフォン画像を見ながら医師が治療薬の処方を行った。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用患者総数は105人で、前年度と比較して約2割減であった。 ・内科は、上気道炎、気管支炎、胃腸炎が多くみられた。 新型コロナウイルスの検査の問い合わせが多かった。 ・外科は、切創・挫創・捻挫・骨折が多かった。 ・小児科は、急な発熱による上気道炎が目立った。

令和3年度 休日急患診療所利用状況

単位:人

診療月	土曜日		休日		合計		科 目			性別		救急車 搬入数	転 送			地 域 別				年 齢 別			1日当平均受診者数	
	回	人数	回	人数	回	人数	内科	外科	小児科	男	女		2次	3次	他	市内	県内	勝山	県外	～15	16～69	70～	土曜	休日
令和3年 4	4	33	5	91	9	124	32	56	36	65	59	1	1	0	0	102	5	11	6	49	47	28	8.3	18.2
5	5	33	8	185	13	218	80	69	69	107	111	0	2	0	0	187	7	21	3	94	78	46	6.6	23.1
6	4	35	4	136	8	171	40	60	71	100	71	0	0	0	0	145	8	18	0	96	61	14	8.8	34.0
7	5	48	6	228	11	276	73	99	104	150	126	4	3	0	0	224	14	32	6	135	95	46	9.6	38.0
8	4	28	7	183	11	211	78	63	70	96	115	1	3	0	0	179	6	23	3	84	81	46	7.0	26.1
9	4	43	6	127	10	170	54	72	44	85	85	0	2	0	0	151	9	10	0	63	72	35	10.8	21.2
10	5	32	5	106	10	138	38	70	30	63	75	1	5	2	0	120	7	7	4	48	49	41	6.4	21.2
11	4	18	6	141	10	159	38	63	58	75	84	2	3	0	0	134	6	17	2	73	60	26	4.5	23.5
12	4	29	5	147	9	176	47	50	79	89	87	0	0	0	0	145	5	14	12	86	66	24	7.3	29.4
令和4年 1	4	20	8	209	12	229	71	83	75	113	116	3	2	0	0	177	12	29	11	95	88	46	5.0	26.1
2	4	23	6	91	10	114	37	49	28	64	50	2	2	0	0	101	4	9	0	41	47	26	5.8	15.2
3	4	19	5	86	9	105	34	48	23	60	45	1	0	0	0	92	5	6	2	31	52	22	4.8	17.2
合 計	51	361	71	1,730	122	2,091	622	782	687	1,067	1,024	15	23	2	0	1,757	88	197	49	895	796	400	7.0	24.3

※転送 救急車で高次医療機関へ搬送すること。

<参考>

診療月	土曜日		休日		合計		科 目			性別		救急車 搬入数	転 送			地 域 別				年 齢 別			1日当平均受診者数	
	回	人数	回	人数	回	人数	内科	外科	小児科	男	女		2次	3次	他	市内	県内	勝山	県外	0～15	16～69	70～	土曜	休日
29年度	50	626	72	3,342	122	3,968	1,559	915	1,494	1,933	2,035	48	47	0	3,218	160	416	174	1,716	1,756	496	13	46	
30年度	50	505	74	3,521	124	4,026	1,688	915	1,423	1,970	2,056	40	30	5	3,280	189	397	160	1,637	1,813	576	11	48	
31年度 (令和元年)	50	514	77	3,498	127	4,012	1,561	889	1,562	2,031	1,991	42	34	4	3,225	175	438	174	1,800	1,652	560	10	44	
令和 2年度	50	291	70	1,479	120	1,770	576	745	449	888	882	16	14	0	1,489	67	173	41	650	734	386	6	21	
令和 3年度	51	361	71	1,730	122	2,091	622	782	687	1,067	1,024	15	23	2	1,757	88	197	49	895	796	400	7	24	